

ともに チャレンジ!



～ 美しい「あ・や・が・わ」の進化 ～

あらたな文化 やすらぐ校風 がんばる心 わの精神

令和6年度 綾川中学校学校便り No.20

2024年9月3日

「あきらめない心」と「不断の努力」の大切さ ～2学期始業式式辞より～

9月2日(月)の始業式に次のような話をしました。パリオリンピックや総合体育大会等で随所に見られた「あきらめない心」と「不断の努力」が大切だと…。以下は、話の一部抜粋です。

エピソード1 パリオリンピック

体操男子団体 逆転金メダル

相手のミスはあったものの、全員が確実な演技を積み重ね、最大で3.267点あった差を逆に0.532点上回り、見事逆転の金メダルへ!

あきらめないことの大切さ

体操男子団体
最大3.267点差
を **大逆転**



エピソード2 パリオリンピック

スケートボード 堀米悠斗選手 逆転金メダル

最後となる5回目の試技で、96.99点以上をださなければ勝てないという絶体絶命の状況下で97.08点を叩き出し、見事逆転金メダル!

試合後のコメント「1%『も』可能性があるのならば、決してあきらめない!」

あきらめないことの大切さ

スケボー堀米雄斗
100点満点で**96.99以上出**
さなければならない
最後の試技で**97.08**



エピソード3 香川県総合体育大会

綾川中ハンドボール部女子 逆転優勝

極めて決まる確率の低い「ノータイムフリースロー」(タイムアップ直前の反則により、1本だけゴールを狙えるフリースロー)。

この日の他の試合での同じプレーで1度も決まらなかったこのプレーが見事に決まり、
同点 → 延長戦 → 逆転 → 県総体優勝へ!

あきらめないことの大切さ

ハンド女子県総体決勝

1点ビハインド

ノータイムフリースローを
決め、見事**同点延長戦**へ!
そして優勝へ!



これらのエピソードは、決して「あきらめない」という精神論だけで成し得たことではありません。私たちに見えていないところでの、地道で苦しい、不断の努力があったことは間違いありません。こうした努力で培った自信があるからこそ、それが「あきらめない」という気持ちを後押しし、最後の逆転につながったのでしょう。生徒のみなさん、どうぞこの2学期も、あきらめない心と、日頃の地道な努力を大切に、個人として、学級・学年団の一員として、更なる成長を目指しましょう。そして、綾川中学校3年目をともに、更に進化させましょう。(※講話の内容を一部抜粋・加筆)

2学期も子どもたちの健やかな成長を後押しできるよう努めてまいります。2学期もよろしくお願いいたします。

【令和6年度コンクール等の結果】

全日本合唱コンクール四国支部大会 **金賞**(四国支部代表) → **㊦全国大会出場**

祝

全国大会出場合唱部
全日本合唱コンクール 全国大会

